

# 新たな通信媒体を利用したサーフェイス通信技術の研究開発

2次元の通信媒体の任意の地点で通信及び電力伝送を可能とするサーフェイス通信技術の研究開発を行う。  
サーフェイス通信技術の基盤となる通信媒体及びインターフェイス(通信技術の物理層)の開発  
サーフェイス通信技術に係る漏洩電磁界測定方法、安全性評価方法の確立

研究開発期間:平成20年度～平成24年度(5年間)  
予算:総額86百万円程度(上限、平成20年度)

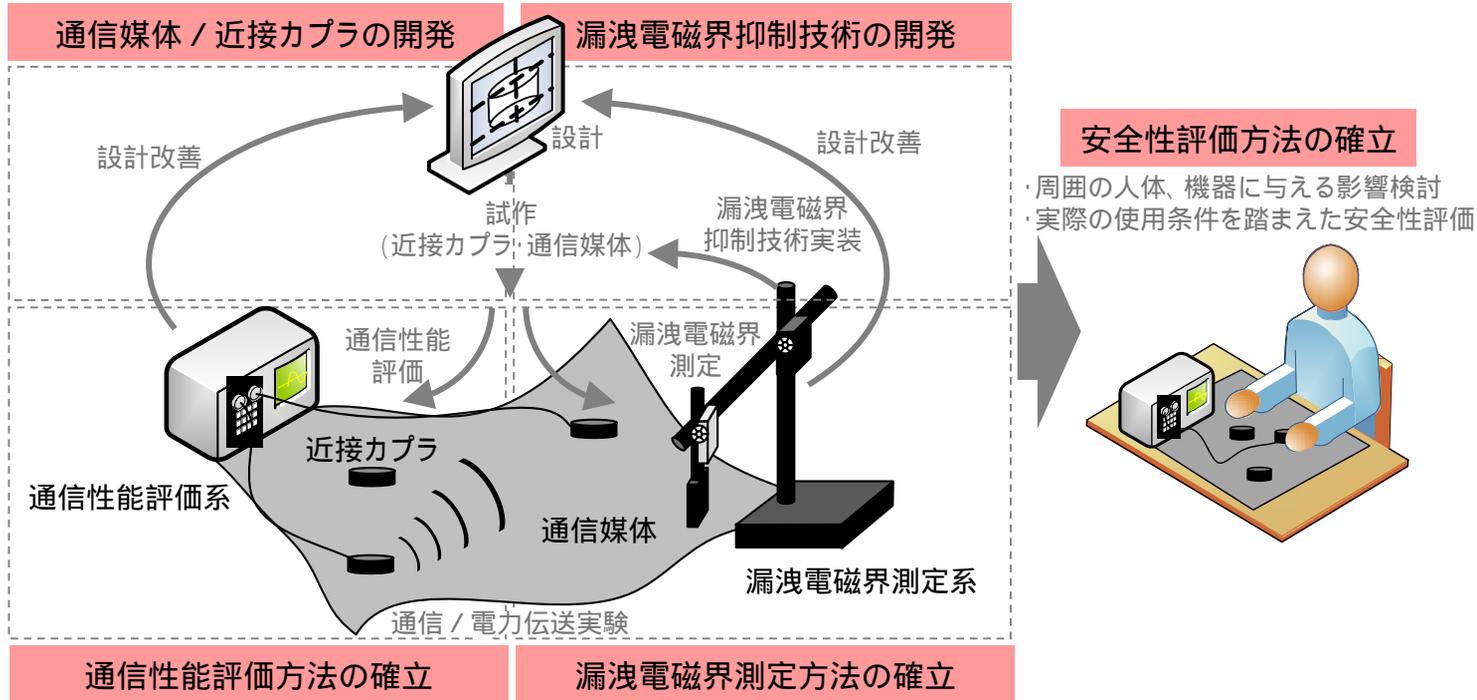
## 研究開発の個別課題

課題ア 新たな通信媒体及び  
高効率インターフェイスの開発

- ・通信媒体の開発
- ・近接カプラの開発
- ・通信性能評価方法の確立
- ・漏洩電磁界抑制技術の開発

課題イ 漏洩電磁界測定方法  
及び安全性評価方法の確立

- ・漏洩電磁界測定方法の確立
- ・安全性評価方法の確立



## サーフェイス通信技術のアプリケーションのイメージ図

